

CAMPUS PRESS

長崎総合科学大学
学報

JANUARY
2016
NO. 106

contents

UNE語学・異文化研修プログラム

話題人

工学部工学科建築学コース1年生
吉田 雄一郎さん

8コースアラカルト
各学科最新トピックス

NiAS TIMES

産官学連携

公開講演会

附属高等学校ニュース

未来創造寄付金

Information

CAMPUS PRESS

長崎総合科学大学学報 No.106 2016年(平成28年)1月
編集・発行 長崎総合科学大学 総務企画課 〒851-0193 長崎県長崎市網場町536 TEL.095-8338-5131 <http://nias.jp/>

2016(平成28)年度 入試のご案内

■大学入試案内

項目	一般入試			センター試験利用入試			AO入試 AO特待生入試
	I 期	II 期	III 期	I 期	II 期	III 期	
出願期間 (消印有効)	1/ 7(木) 2/2(火)	2/16(火) 3/10(木) 必着	3/12(土) 3/25(金) 必着	1/ 7(木) 2/2(火)	2/16(火) 3/11(金) 必着	3/12(土) 3/27(日) 必着	9/ 1(火) 3/11(金)
試験日	2/6(土)・2/7(日)	3/13(日)	3/27(日)	—	—	—	随時
合格 発表日	2/15(月)	3/18(金)	3/29(火)	2/15(月)	3/18(金)	3/29(火)	1/18(月)、2/15(月) 3/18(金)、3/29(火)
入試科目等	2科目 ◎1時間目/国語(国語総合) ※近代以降の文章 理科(物理) (化学) (生物) 外国語 (コミュニケーション英語Ⅰ + コミュニケーション英語Ⅱ) ◎2時間目/数学		数学および面接 ◎1時間目/数学 ◎2時間目/面接	4科目(工学部)または3科目(総合情報学部) 1. 国語(国語)(国語のうち近代以降の文章) 2. 地理歴史・公民 (世A、世B、日A、日B、地理A、地理B、現代社会、 倫理、政治・経済、「倫理、政治・経済」) 3. 数学①(数Ⅰ、数Ⅰ・数A) 4. 数学②(数Ⅱ、数Ⅱ・数B、情報関係基礎、工業数理基礎) 5. 理科②(物理、化学、生物、地学) 6. 外国語(英、独、仏、中、韓)[英語はリスニングを含む]			面接(個別) 志望理由書 (出願時提出) ※600字~800字
試験場	本学、佐世保、五島 対馬、那覇、鹿児島 宮崎、大分、熊本 佐賀、福岡、松山 広島、大阪、東京	本学、鹿児島 福岡、広島 大阪、東京	本学	—	—	—	原則として本学
検定料	28,000円			13,000円			30,000円

■大学院入試案内

工学研究科 修士課程/博士課程

■附属高校入試案内

平成28年4月入学者(二次募集)	特別入試				一般入試(一次試験)		一般入試(二次試験)	
	願書受付期間	試験種別	出願期間	試験日	会場	試験科目	合格発表	受験料
願書受付期間 2/10(水) ▶2/19(金) 必着	試験種別 学業推薦試験 一般 A・B特待 スポーツ推薦試験 一般 A・B特待 専願試験 一般 併願試験 一般 A・B特待	出願期間 12/14(月)▶1/7(木)	試験日 1/13(水)	会場 本校	試験科目 国・英(リスニング有り)・数・集団面接 (学業・一般推薦は作文・集団面接)	合格発表 1/18(月)	受験料 6,000円	願書受付期間 2/10(水) ▶2/19(金) 必着
学力試験 (修士課程のみ) 3/1(火)	出願期間 12/14(月)▶1/7(木)	試験日 1/13(水)	会場 本校	試験科目 国・英(リスニング有り)・数・集団面接 (学業・一般推薦は作文・集団面接)	合格発表 1/18(月)	受験料 6,000円	願書受付期間 2/10(水) ▶2/19(金) 必着	
面接 3/2(水)	出願期間 12/14(月)▶1/7(木)	試験日 1/13(水)	会場 本校	試験科目 国・英(リスニング有り)・数・集団面接 (学業・一般推薦は作文・集団面接)	合格発表 1/18(月)	受験料 6,000円	願書受付期間 2/10(水) ▶2/19(金) 必着	
試験場 本学 (詳細は受付後通知)	出願期間 12/14(月)▶1/7(木)	試験日 1/13(水)	会場 本校	試験科目 国・英(リスニング有り)・数・集団面接 (学業・一般推薦は作文・集団面接)	合格発表 1/18(月)	受験料 6,000円	願書受付期間 2/10(水) ▶2/19(金) 必着	
合格発表 3/8(火) 13:00 大学院掲示板	出願期間 12/14(月)▶1/7(木)	試験日 1/13(水)	会場 本校	試験科目 国・英(リスニング有り)・数・集団面接 (学業・一般推薦は作文・集団面接)	合格発表 1/18(月)	受験料 6,000円	願書受付期間 2/10(水) ▶2/19(金) 必着	
入学検定料 30,000円	出願期間 12/14(月)▶1/7(木)	試験日 1/13(水)	会場 本校	試験科目 国・英(リスニング有り)・数・集団面接 (学業・一般推薦は作文・集団面接)	合格発表 1/18(月)	受験料 6,000円	願書受付期間 2/10(水) ▶2/19(金) 必着	

学費サポート制度(特待生制度・優待生制度)

特待生 A1 授業料を全額免除(4年間)

国立大学よりも学費がかかりません

センター試験利用入試または一般入試(I期・II期)にて選考

対象 学力・人物の優秀な者 ※成績不良等で取り消し有

特待生 A2 授業料1/2免除(4年間) **新設**

センター試験利用入試または一般入試(I期・II期)にて選考

対象 学力・人物の優秀な者 ※成績不良等で取り消し有

特待生 B 授業料1/2免除(4年間)

AO特待生入試にて選考 対象 次のいずれかに該当する者 ※成績不良等で取り消し有

- ①高度な特技・資格を有し、それを本学で発揮しようとする者
- ②各種コンテストやスポーツ・文化活動等で優秀な成績を収め、本学でその能力をさらに伸ばし発揮しようとする者
- ③本学主催「全国高校生アイデアコンテスト」で優秀賞以上を受賞した者

外国人留学生入試(前期)にて選考

対象 日本留学試験の日本語250/400点程度。数学の成績も合わせて総合的に判定する。
※成績不良等で取り消し有

在学生の優待制度

3年生または4年生で学力および人格が優れた者に対して授業料を免除します。3年生は2年次までの成績、4年生は3年次までの成績が選考対象となります。(3年次で優待生に採用された者も、4年次は再度選考となります)

きわめる。拓く。創り出す。

NiAS 長崎総合科学大学

※NiAS(ニアス)は、大学の英文名
Nagasaki Institute of Applied Scienceの略称です。

長崎総合科学大学「Facebook」&「LINE」! 大学の様々な情報を配信しています。ぜひ、ご登録ください。

<https://www.facebook.com/nias.ac.jp>

@nias

SNSでも情報発信中

本学モバイルサイトに
アクセスできます。



きわめる。拓く。創り出す。
NiAS 長崎総合科学大学
Nagasaki Institute of Applied Science



大自然のなかで世界中の人たちと コミュニケーション 合言葉は『Don't be shy!』



報告:松崎美乃理さん(環境・建築学部建築学科4年生)
8月22日~9月14日 UNE語学・異文化研修プログラム 参加

的に行動することを決め、毎日モーニングティーの時間にELCの外に出て、他のクラスの人や守衛さんと話をすることを決めました。実際に翌日から実行することができ、南スーダンの方、イラクの方、他のクラスの中国人の方など、様々な人と話をすることが出来ました。その他にも、苦手なスポーツに積極的に参加することや、気になった事をホストマザーにどんどん質問することが出来るようになりました。これは私にとってとても意味があることであり、留学前の「様々な人とコミュニケーションをとれるようになる。」という目標を達成できたように思います。

これらの2点は、長崎にいるだけでは経験することが出来ないことであり、オーストラリアに行くと良かったと本当に思いました。



松崎美乃理さん(長崎県立長崎西高校卒業)とホストマザーのジュリーさん

私たちが滞在したアミデールは、羊毛、金、教育の3つの産業が盛んであり、とても落ち着きのある静かな田舎町でした。私たちが訪問した時期は朝方と夜がとても寒く、日中は日差しがとても強く暑いという厳しい時期でした。しかし、オーストラリアは日差しこそ強く暑いものの、日本のような湿度はなく、さっぱりとした気候で、とても快適に過ごすことができました。また、土地が広大で、高層の



地元のお祭り「カラーラン」にも参加し親睦を深めました



医療工学コース2年 上村卓也さん(長崎県立長崎北高校卒業)



最後にになりましたが、オーストラリア留学を計画し、準備してくださった方々、一緒にオーストラリアに行った13人のみんなに感謝したいと思います。本当にありがとうございました。



医療工学コース2年 松本雄介さん(長崎県立宇久高校卒業)

3週間だけではやはり、英語のスキルは伸びていないと思います。しかし、英語に対する意欲や、多くの人々と話をして、世界中を見てみたいという気持ちはさらに強くなりました。今後は、将来、長期留学をすること、多くの国に行くことを目標に、しっかりと働き、勉強もしていきたいと思えます。

天国の小辻梅子先生ありがとう!



第1回のUNE語学・異文化研修プログラムを無事に終えることができました。出発前にスカイプで向こうで受け持て下さる先生と研修生のみんなでお話をした時と、帰国後の報告会での君達との変化に、君達自身が気が付いているかどうか分からないが、私はその大きな成長に驚くとともに大変嬉しく思いました。短期間でこんなにも人は成長できるものと長年教育に携わってきた自分としても驚きです。この調子で成長していけば就職の面接試験合格は間違いなしです。異文化研修、多様性の学習の教育効果の大ききということだと思います。天国の小辻梅子先生ありがとうございます。

学長 木下 健

長崎総合科学大学 UNE語学・異文化研修プログラム



UNE: University of New England ELC: English Language Centre

「UNE語学・異文化研修プログラム」とは、オーストラリアニューサウスウェールズ州アミデールのニールイングランド大学(UNE)英語センター(ELC)で語学学習と異文化研修を目的とした3週間の短期留学プログラム。本学の学生をこれからのグローバル社会の発展に寄与する人材として育成することを目的とし設立された「小辻梅子海外留学支援基金」より研修費の助成を受けて、今年度はじめて実施。

8月22日~9月14日の間、1年生から4年生までの14名が一般の家庭にホームステイをして滞在し、英語学習のほか、スポーツUNE、ホームステイ先でのホストファミリーとの交流などを通じて、現地での生の英語と異文化に触れました。また、UNEには世界各国からの留学生達が共に学んでおり、参加した学生たちは文字通りグローバルな環境のなかで刺激的な3週間を過ごし、自らの成長を実感できた様子でした。研修を経験した学生の皆さんの今後の更なる活躍が期待されます。



二つ目は、積極的に行動する大切さです。オーストラリアに来た当初は、何かを進められても「私は出来ないから。」や「恥ずかしいから出来ない。」などと言って、何にでも遠慮をしていました。私はホストマザーに「昔、日本人の女性は、控えめであることが美德であるという考えがあり、現在でもそのような考えが少し残っている。」という事を話したことがあります。それに対し、ホストマザーは「オーストラリア人にはそのような考えは無い。恥ずかしがらずに何にでも挑戦することが大切だ。」と話をしてくれました。その時から、私たちの合言葉は「Don't be shy!」になり、その日から私は何事にも積極

いうことと、少しの恐さもあって、ほとんど自分からは話しかけることが出来ませんでした。徐々に話すことができるようになり、最後には楽しく会話をすることができるようになりました。また、クラスの枠を越えた出会いも多くありました。ELCの他のクラスの方やUNEで日本語を学ぶ学生、食堂で毎日会う大学生など、人種や言葉文化に関係なく会話をすることが出来、彼らのアイデンティティも少しだけではありますが、垣間見ることが出来るように思います。

工学部工学科 船舶工学コース

船舶工学コースでは、近隣地域の学童を対象に毎年「夏休みおもしろ船教室」を開催しています。本年度は、8月7日(金)に「海洋体験クルージング」とものづくり体験として「ペーパークラフト教室」、また「操船シミュレーター体験」と「船を造ろう!造船技術シミュレーター(塗装・溶接)体験」を実施し、子ども達の夏休みの思い出づくりのお手伝いをさせていただきました。



工学部工学科 建築学コース

建築学コースでは、2年生前期の課題として「建築模型」の制作に取り組めます。本年度は「長崎県美術館」、「心田庵」、「旧オランダ村」、「旧本田家住宅」、「長崎ペンギン水族館」、「旧グラバー邸」、「旧羅典神学校」等の建築模型制作に取り組まれました。写真は「心田庵」の模型です。建築2年の岩本華子さん、佃優莉香さん、野口泰生さんが取り組みました。



〈心田庵〉
(長崎市指定史跡:長崎市片淵2丁目18番18号)
万治元年(1658)に唐小通事となった何兆晋が建てた別荘で、春と秋に一般公開されます。

工学部工学科 医療工学コース

8月から始まった臨床実習と卒業研究の中間報告会が無事に終わりました。卒業研究中間発表会は、10月30日に9つのテーマが発表され、熱心に討議されました。臨床実習は、1月間で2施設の病院を回り、実践的な臨床工学技士の業務を体験します。その後、ホッと息をつく暇もなく、11月現在の4年生は、毎週月曜日に臨床工学技士国家試験の模擬試験を受けています。来年の3月まで、就職活動と国試対策の辛い日々が続きます。



総合情報学部総合情報学科 マネジメント工学コース

総合情報学科が実施するキャリアデザイン教育の一環として、11月5日(木)にマネジメント工学コースからの有力な就職先業界であるネットショップの講演がありました。講師は長崎市在住の本学卒業生で、楽天市場で月商(最高)800万円のショップを切り盛りしています。講演を聞いた1年生は興味津々で、講演後には講師の会社が実施する中期インターンシップへの問い合わせもあり、今年度は本学から1名を採用したと講師から聞いています。



工学部工学科 機械工学コース

長崎県内の学生と中小企業のものづくり交流を目的に立ち上げられた企画「第2回スマコマながさき電動バイクコンテスト」が11月8日、あたご自動車学校で開催され、機械工学コースの3、4年生を中心としたチームで参加しました。大学で学んだものづくりの知識・体験をベースに、約2ヶ月をかけて講義終了後や土、日曜日を利用して、廃品の自転車・バイクを加工し電動バイクを製作しました。学年間、他大学、中小企業との交流を深める良い機会となりました。



工学部工学科 電気電子工学コース

電気電子工学コースでは、単位取得と実務経験で、電気主任技術者資格が取得できます。電気法規・電気施設管理の課外講義として、九州電力(株)の玄海原子力発電所と長崎電気ビルを訪問し、電気の安定供給のために様々な先端技術で運用されていることを学びました。この中で、異常発生時の迅速で的確な対応のための日頃の厳しい訓練を目の当たりにし、就職直前の4年生は、次第に身が引き締まった表情になってきました。



総合情報学部総合情報学科 知能情報コース

11月18日・19日、知能情報コースを中心とした4人の学生がパシフィコ横浜で開催されたETロボコン2015チャンピオンシップ大会に出場し、アドバンスクラス競技部門優勝、モデル部門技能賞、情報処理学会若手奨励賞とトリプル受賞に輝きました。高校生から一般企業まで同一ルールで戦うのが特徴で、今回初めて学生チームが全国制覇の快挙を成し遂げました。(P5「NiAS Times」でも紹介)



総合情報学部総合情報学科 生命環境工学コース

生命環境工学コースで、長崎市、企業と共同して長崎市東部下水道から排出されるメタン発酵残渣を有効利用する目的で研究を進めています。これまでの研究ではハウレンソウ、カブ及びトマトを栽培して、非常においしいトマトが収穫され、残渣の肥料効果が優れていることが分かり、肥料登録もして、農家で栽培実証試験が行われています。



話・題・人

Close
up
People

2015年「長崎くんち」龍踊り～龍方の最年少で出演～

影武者となり「生きた龍」を表現!

龍踊(じゃおどり)は、ときに龍(じゃ)を操る龍方(じゃかた)の存在が消え、龍があたかも生きているように躍動する。そのとき、龍方が身に付ける黒い唐人服の衣装は「黒雲」となり、「龍を操る者」としての存在を消す。この「黒雲」にこだわり、「自分が龍を操っているのではなく、生きた龍が駆ける姿を表現したかった。」と吉田さん。

世代の垣根を越えて味わった感動!

本番に向けて8月から始まった連日連夜の練習には体調を崩した1日以外は休まず参加。小さい子どもや年配の方、演技者だけでなく裏方の人たちまで、様々な年代や異なる立場の人達と心を通わせて懸命に練習に励んだそうです。そして、迎えた本番。「大変だったけど、最後は全員で感動できたことが嬉しかった!」と笑顔で話してくれました。

「竹ン芸」出演にも意気込む、地元長崎への愛と情熱!

実は、長崎の伝統行事への参加は「くんち」だけではなく、若宮稲荷神社(長崎市)の秋の祭りに奉納される「竹ン芸」に3歳で「子狐」として参加した経歴も持つ。今年も保存会スタッフとして参加。「竹ン芸」とは、狐の面をつけた白装束の若者が、高さ10mの青竹の上で曲芸を行うもの。今年は、「くんち」出演と重なり、「狐」役での参加は叶わなかったが、「来年こそは、竹に登ります!」と力強く意気込みを語ってくれました。

長崎だから出来ること。

伝統芸能の魅力を伝え、守り続けていきたい!

「長崎に生まれ育ち、幸運なことに長崎くんちと竹ン芸の両方の伝統芸能に出演する機会に恵まれている。長崎伝統の魅力を伝え、守っていききたいとの思いで、大学進学は地元長崎の本学を選んだ。」と吉田さんは語ります。長崎という特色あるフィールドすべてを学びの場と捉え、吉田さんの挑戦は続きます。

《「長崎くんち」と「龍踊」》

「長崎くんち」は毎年10月7日～9日に行われる諏訪神社の祭礼で1634年が始まりとされる国の重要無形文化財。吉田さんが参加した諏訪町は人気の出し物のひとつ、「龍踊」を奉納する。



工学部工学科建築学コース1年生(海星高校卒業)
吉田 雄一郎さん Yuichiro Yoshida

「黒雲」に
こだわり、
なりきる
こと。





祝 優勝&九州リーグ昇格決定! 大学サッカー部

決勝ゴールを決めた小橋川政一郎選手(5番)



祝 日本一 「ETロボコンチャンピオンシップ大会」

頼むぞ! 相棒~!!



優勝決定後、胴上げで宙に舞う八戸寿憲監督

12月5日、6日に鹿児島県霧島市で行われた「九州各県大学サッカーリーグ決勝大会」で大学サッカー部(監督:八戸寿憲/元・V・ファーレン選手兼コーチ、主将:田中佑昌選手/経営情報学科3年生)が、3度目の挑戦で悲願の初優勝を果たし、次年度からの九州リーグ2部昇格が決定しました。

決勝戦は鹿児島国際大学と対戦し、前半に先制点を奪われながらも、後半に同点に追いつき、そのまま延長戦に突入。延長前半に決勝ゴールを奪い、そのまま逃げ切り、2部で劇的な勝利。国体九州ブロック大会のサッカー競技・成年男子の長崎県代表に選出された田中選手と小橋川選手、今夏スペインにサッカー留学した阿満選手などが中心となり、控え選手やスタッフ全員が一丸となって、悲願を成し遂げました。

てっぺん獲ったぞん

11月21日、22日の2日間、第52回造大祭を開催しました。恒例のお笑いライブや模擬店をはじめ、今年はスペシャルコラボ企画として平和研究者の大崎敦司氏を招き、トークライブ&写真展を開催しました。



トークライブ「長崎の地から考える東アジアの和解」大崎敦司氏×上園恒太郎×ブライアン・パークガフ



造大祭恒例の沖縄県人会「エイサー」の演舞

大学の田んぼで 児童と稲刈り

10月23日、日見小学校の4年生64名と生命環境工学科1年生が6月に植えた稲の収穫に汗を流しました。毎年、児童を招き稲作を通して自然や食の大切さを伝えていきます。



「自分達で作ったお米を食べるのが楽しみ」



6月の田植え

「竹灯笼」で長崎ペンギン水族館を 幻想的に演出

竹林整備サークルへ竹取物語が近隣の自治会と協力し、8月29日、長崎ペンギン水族館の「サマーナイト水族館」の目玉の一つとして、688本の竹灯笼で水族館のビオトープ通路185mを幻想的に演出しました。



賞品を手にする中島響子さん(左)と田中敦雅さん(右)

「第4回長崎 デジタルコンテスト」で受賞

9月5日、「第4回長崎デジタルコンテスト」(株式会社アドミン主催)のマルチメディア部門で、本学1年のの中島響子さんが絶対音感がテーマの動画で奨励賞、4年の田中敦雅さんがCG作品「超力闘志アースセルフィ」で審査員特別賞を受賞しました。

受賞しました~♡

《NiASETチームメンバー》

【リーダー】
草野翔吾さん(知能情報学科3年生)
居村大輝さん(知能情報学科3年生)
諸石竜也さん(知能情報科2年生)
松本翼さん(生命環境工学科1年生)

【顧問】
下島真教授

「組込みシステム」分野における技術教育をテーマに、決められた走行体で指定コースを自律走行する競技です。同一のハードウェア(LEGO MindstormsTM)に、UML等で分析・設計したソフトウェアを搭載し競うコンテストです。

大会は、企業や一般のチームも含めた中で争われ、本学「NiASET」チームが出場したアドバンストクラスは3輪のロボットを走行させる上級者部門にあり、その中で大学生チーム初1位となる快挙でした。



ETロボットの走行体



表彰式の様子



日本一に輝いたNiASETチーム



嬉しいけれど照れるな~♡

勝利の王冠とガウンを授与



ブースでの説明の様子



本学主催企業研究セミナーの様子

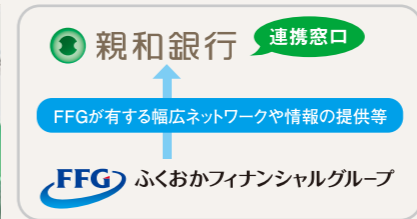
本学主催の 企業研究セミナーを開催

本学では、企業の業務内容や業界に関する理解を低学年の時期より深めるためのキャリア教育の一環として「企業研究セミナー」を12月17日、ホテルニュー長崎で開催しました。全国から55社の企業と学生約300名が参加しました。セミナー前半に行われた講話のみならず各企業ブースで、企業担当者からの説明を学生が真剣な表情でメモを取りながら聞いていました。なお、2月にも、同様の企業研究セミナーの開催を予定しています。

親和銀行及びふくおかフィナンシャルグループと協定締結



協定に調印した吉澤頭取(左)と立石理事長(右)



地方創生の取り組みの一環として、株式会社親和銀行及び株式会社ふくおかフィナンシャルグループと「産学連携の協力推進に関する協定」を9月29日に締結しました。この協定は、本学が有する研究成果や技術シーズ等の知的財産と親和銀行を含めたFFGが有する幅広いネットワークや金融・経済に関するノウハウの融合により、地域中小企業の発展と豊かな地域社会の形成に貢献することを目的としています。

今後は相互に連携・協力しながら、地域の課題や発展に取り組んでいきます。

日本初の
「燃料電池船」が完成



水を燃料としCO2を排出しない燃料電池船「長吉丸」



8月5日に五島市で行われた完成記念式典

工学部工学科船舶工学コースが開発に携わった、水を燃料とする日本初の「燃料電池船」が完成しました。この「燃料電池船」は、環境省の「CO2排出削減対策強化誘導型技術開発・実証事業」として、浮体式洋上風力発電の余剰電力で製造した水を活用するために開発されたものです。戸田建設株式会社を中心とした企業グループで開発が進められ、本学船舶工学コースは、船舶工学の教育・研究機関として、その船体設計・製作・燃料電池等の機器実装のとりまとめを担当しました。船の定員は12人、最高速度20ノット、一回の水素充填で2時間程度の航行が可能です。

2015年8月から、五島市の梶島沖で実証実験が開始されており、今後はCO2排出削減により環境に優しく、燃料負担の少ない船として漁船への展開も期待されています。

公開講演会

「21世紀の科学技術」

～みんなで学ぼう～宇宙の最前線～

◎本学大学院新技術創成研究所主催 ◎12月20日サンブリール



長崎の地で先端科学や技術の最前線に関する理論や動向に触れる機会を提供することを目的とした講演会も13回を数え、今回は「宇宙の最前線」をテーマに開催しました。昨年のノーベル物理学賞を日本人が受賞したことや2011年に本学で小惑星探査機「はやぶさ」の帰還カプセルを展示した経緯もあってか非常に関心が高く、長崎県内の高校生や一般市民など約300名が参加しました。

基調講演では、「はやぶさ」元プロジェクトマネージャ(JAXA(ジャクサ)の川口淳一郎氏が「やれる理由こそが着想を生む」、理化学研究所の玉川徹氏が「宇宙の進化とブラックホールの謎」と題してそれぞれ講演いただきました。

また、本学を代表して、大学院工学研究科の松川豊准教授(元JAXA研究員)が「宇宙船を熱から守る技術」、本学学生で工学部電気電子工学科4年の道上偉太さんが「人工衛星をつくらう」と題して研究発表を行いました。

会場内には、「対」で講師に質問が出来る「質問コーナー」が設置され、宇宙を題材とした先端科学の話題に目を輝かせる高校生の姿が見られました。

ながさき次世代ロボット研究会

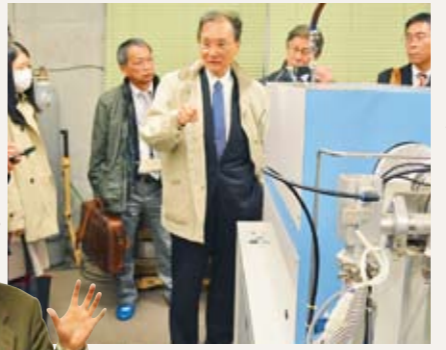
「ながさき次世代ロボット研究会」が設立記念シンポジウム(第1回研究会)を6月26日、本学で開催しました。研究会を通じて人材育成の輪を広げロボットを次の産業の柱として長崎で発展させることを目指し、本学と長崎大学および県内企業により設立。第2回は9月17日、第3回は11月11日に開催しました。毎回、最新の技術開発や研究成果などを当該分野の専門家が講演し、多くの企業や大学の研究者が出席して活発な情報交換が行われています。

ロボットはあらゆる分野の技術が結集したものです。オール長崎による知恵や技術を生かし、この研究会を通して地方創生を目指します。



産業技術総合研究所 岩田拓也氏「空間移動ロボットの研究開発」(第2回)

『テクラボツアー in 長崎総合科学大学』を開催



リチウムイオン電池研究室を案内する山邊時雄特命教授(中央)



特別講演を行った木下健学長

「長崎、新生、産官学連携コンソーシアム」主催による「テクラボツアー in 長崎総合科学大学」が11月27日に長崎県内の産官学関係者、本学学生・教職員などが参加し、本学で開催されました。

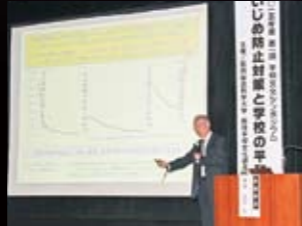
このテクラボツアーは、県内工科系大学、高専の研究シーズ紹介と施設見学を実施し、企業と大学研究者の交流を図り、共同研究等の研究開発事業を推進する目的で定期的に行われています。

今回は、木下健学長と山邊時雄特命教授による特別講演の他、3名の本学教員が研究シーズ発表を行い、研究室の設備を見学するツアーも実施。リチウムイオン二次電池研究の第一人者である山邊時雄特命教授の研究室も公開しました。

平和文化シンポジウム

◎本学平和文化研究所主催

2015年度第1回を10月25日、NBCビデオホールで「いじめ防止対策と学校の平和」をテーマに開催しました。鳴門教育大学特任教授の森田洋司氏は「いじめ防止基本方針と学校教育のあり方」と題した講演のなかで「いじめはどこにでもある」として、教育現場や家庭および地域で認知することの必要性を強調しました。



森田洋司氏による講演(第1回)

第2回は11月29日、長崎県立図書館講堂で「少年の重大犯罪の予防と子どもの平和」をテーマに専修大学名誉教授の岩井宣子氏をお招きし開催しました。少年法の専門家ら5人が登壇したシンポジウムでは長崎県の少年犯罪対応の現状が報告され、学校などを軸にした多機関の連携システム構築について意見が交わされました。



岩井宣子氏による講演(第2回)

附属高等学校ニュース

High School Attached to Nagasaki Institute of Applied Science News

野球部が秋の九州高校野球長崎県大会で準優勝の活躍! 「九州地区高等学校野球大会」に初出場!!



長崎県大会準優勝に輝き、閉会式で堂々の行進



応援団も熱の入った応援



九州大会での力投

野球部が秋の九州高校野球長崎県大会で準優勝し、学校史上初となる「九州地区高等学校野球大会」に初出場しました。宮崎県の強豪・日南学園高校と対戦し、結果は残念ながら初戦敗退でしたが、野球部はレギュラーに1年生も多く、今後の更なる成長と活躍が期待されます。

伝統あるヨット部が インターハイ&国体に出場



インターハイでの附属高校の艇の様子



インターハイ&国体に出場したヨット部員

ヨット部が、全九州高等学校体育大会のヨット競技(6月11日~14日、於：佐賀県ヨットハーバー沖)の男子420級で本山主悦さん・福井丈一さん組が4位入賞を果たし、和歌山県で開催された「全国高等学校総合体育大会(近畿総体・インターハイ)」(8月13日~16日)と国民体育大会「紀の国わかやま国体」のセーリング競技(9月10日~13日)に少年男子420級の長崎県代表として出場しました。
結果は全国高等学校総合体育大会では34チーム中、27位、国民体育大会では38チーム中19位でしたが、全国大会ダブル出場で伝統あるヨット部の歴史に新たなページを刻みました。

サッカー元日本代表の三浦淳寛氏による練習指導&「プリンスリーグ九州」参入決定!!



部員に指導する元日本代表の三浦淳寛さん

8月、大塚製薬株式会社主催の「ポカリスエットアカツ応援キャラバン2015」で、サッカー元日本代表の三浦淳寛氏が附属高校に来校され、サッカー部員に対して、熱のこもった練習指導を行っていただきました。三浦さんは、附属高校サッカー部の小嶺忠敏監督の国見高校時代の教え子で、定方敏和ヘッドコーチが国見高校時代に日本一になった時の後輩にあたり、サッカー解説などで幅広く活躍されています。
サッカー部は4年連続出場を懸けた「全国高校サッカー選手権大会長崎県大会」の準決勝で国見高校に惜敗し、冬の全国選手権出場は逃しましたが、長崎県リーグ1部では見事4連覇を成し遂げ、12月のプリンスリーグ参入戦で見事に優勝し、次年度から九州の強豪校で争う「プリンスリーグ九州」への参入が決定しました。



プリンスリーグ参入を決め、喜びの胴上げ

「'15水中ロボコンin JAMSTEC」に 附属高校生のチームが初参加

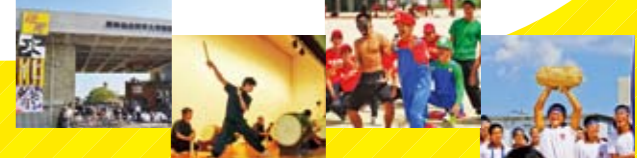
神奈川県横須賀市の海洋研究開発機構横須賀本部で開催された「'15水中ロボコンin JAMSTEC」に、本学の「あばまるNiAS」チーム(ロボット名:Sea Bird Reborn)が一般競技部門に参加しました。また、附属高校1年生2名が今回初めてジュニア部門に参加し、愛知県立三谷水産高校の生徒3名との合同チームとして、初出場ながら第4位と好成績を収めました。



ロボットを製作する高校生チーム

体育祭&文化祭

9月12日に体育祭、10月23日に文化祭を実施しました。体育祭では、一番の目玉の3年生によるパフォーマンス合戦のほか、人気種目の「総高一」の力持ちなど、多彩なプログラムで盛り上がりました。また、今年初めて、中学生招待リレーも実施しました。文化祭では、上演の部で初めて、男子生徒による和太鼓を行い、ものまね選手権など楽しい企画も満載で盛り上がりました。文化祭では日見幼稚園児による大漁太鼓もあり、両日とも保護者や地域の方々にも多数ご来場いただき、思い出に残るイベントとなりました。



学校法人長崎総合科学大学 未来創造寄付金 (平成27年4月1日~平成27年10月31日まで掲載)
ご寄付を賜り、深く感謝いたします。

〈個人寄付者〉			寄付者ご芳名 (50音順 敬称省略)		
蘭 純義	浦川 良一	熊川 年久	田淵 雄三	平松 孝治	守屋 秀洋
飯田 猛	大浦 英明	桑戸 孝子	田村 欣也	平山 慶	山川 一雄
池上 国広	大坪 修	小森 弘明	田村 洋一	平山 隆雄	山川 邦子
池津 徳彦	奥野 道子	小山 修太	恒屋礼二郎	福田 和彦	山口 桜
池末 純一	奥村 典男	昆 修太	鶴 博行	福原 一郎	山口 裕
石川 幹男	帯屋 孝子	坂井 正康	寺岡 正芳	藤川 卓爾	山崎 努
石田 毅	加来 栄蔵	定方 敏和	中野 光啓	藤澤 雄一郎	山下 英明
伊藤 節雄	柏崎 耕平	佐藤 元治	中原 和夫	本多 雄一	山本 翔平
伊福 彰	片山 仁志	佐藤 裕一郎	中原 祐介	前川 琢美	湯川 秀紀
今井 由幸	亀井 守正	佐野 修	仲嶺 真太郎	町口 重文	横尾 寛
入江 誠	川上 治男	白木原 浩	中村 秀樹	松尾 滝俊	横手 一彦
岩田 和郎	川尻美智子	末次 秀雄	中村 康次	松波 治美	吉岡 キヌ
岩永 忠康	北原 智和	鈴木 智夫	野口 敏治	松元 孝市	吉田 数重
岩永ツユ子	北山 弘道	高橋 眞司	野口 加代美	満江 光弘	吉田 勝久
上田 康士	木下 健	立石 曉	野口 実	宮原 智文	吉田 隆光
上野 憲一	行徳 威夫	高橋 眞司	蜂谷 博	村上 美子	吉田 政則
臼井 寛	草野 恒史	立石 曉	花岡 哲	村田 義幸	与那嶺 浩
内田 延佳	久保 一雄	田中 学	林田 慶	本村 政勝	米丸 和孝
浦 一俊		谷山 紘太郎	日比野 正己		

寄付のお申し込み
下記お問い合わせ先までご連絡ください。
インターネットおよび寄付申込書、払込み用紙
等をお送りいたします。

お問い合わせ
長崎総合科学大学
総務企画課
未来創造寄付金担当
〒851-0193
長崎県長崎市網場町536
TEL.095-839-3111(代表)
FAX.095-839-0584
E-mail mkifu@NiAS.ac.jp

〈企業寄付社〉	
扇精光ソリューションズ株式会社	株式会社堀内組
株式会社イシマル	株式会社メモリード
株式会社INTERMEDIA	川口印刷株式会社
株式会社NDKCOM	九州ガスエネルギー株式会社
株式会社西海建設	協和機電工業株式会社
株式会社十八銀行	長崎放送株式会社
株式会社親和銀行	ニュー長崎ビルディング株式会社
株式会社タカラ電設	東長崎商工会
株式会社チョープロ	不動技研工業株式会社
株式会社テレビ長崎	宮本電機株式会社
株式会社長崎国際テレビ	有限会社アイアンドビー
株式会社西村商会	有限会社和泉屋

感謝をカタチに。